

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	非扁平上皮 非小細胞肺がん	テセントリク+CnP	○日常診療	術前化学療法	3週
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済・審議中	○進行・再発	予定総コース
		その他()			4又は6

☆上記のうち該当箇所には○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1.8など)	投与経路
1	生理食塩液	200 mL	165分(初回)	d1	主管
			135分(2回目以降)	d1	主管
			45分	d8.15	主管
2	テセントリク 生理食塩液	1200mg 250mL	1時間(初回)	d1	側管
				30分(2回目以降)	
3	アロキシ Dex 生理食塩液	1V 3A 100mL	15分	d1	側管
4	アブラキサン 生理食塩液	100mg/m ² *	30分	d1.8.15	側管
5	カルボプラチン 生理食塩液	AUC 6 500 mL	1時間	d1	側管

留意点 および 急性 有害 事象 等	<p><投与基準></p> <p>・PD-L1の発現に関わらず化学療法未治療の扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺がんの一次治療 Neutro>1,500/mm³、Hb>9.0g/dl、PLT>100,000/mm³、総ビリルビン≦施設基準値上限の1.25倍、AST/ALT≦施設基準値上限の2.5倍(肝転移は5倍)、血清クレアチニン≦施設基準値上限の1.5倍、PT(INR)≦施設基準値上限の1.5倍(抗凝固療法を受けている患者は用量が安定していること)。HBsAg陽性又はC型肝炎を有する患者は除外されている。</p> <p><有害事象></p> <p>【IMpower130試験】Grade3-5 好中球減少(32.0%)、貧血(29.0%)、血小板減少(9.0%)、下痢(5.0%)</p> <p><減量基準></p> <p>以下、irAE関連有害事象では添付文書に準拠した減量・休薬を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺疾患等の呼吸器障害・肝機能障害・大腸炎/下痢・膵炎・内分泌障害・脳炎/髄膜炎・神経障害・皮膚障害 ・腎炎・筋炎/心筋炎・眼障害・重筋力無力症・Infusion reaction (Grade2以上のIRが出現した場合、次回以降の投与時には抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤を経口で前投与し、注意深くモニタリングする) <p><その他注意></p> <p>【CBDCA】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・含イオウアミノ酸輸液中で分解が起こるため、アミノ酸輸液との配合は避ける。 <p>【テセントリク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用すること。 ・他剤との混注をしないこと。 <p>【nab-PTX】</p> <ul style="list-style-type: none"> *・1バイアル当たり生理食塩液20mLをバイアルの内壁伝いに、直接、内容物にかけないように泡立ちに注意しながらゆっくりと注入する。 ・内容物が確実に濡れるよう5分間以上バイアルを静置する ・調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に用意した空の点滴バッグ等にゆっくりと注入する。 <p>注意：懸濁液を生理食塩液に入れて希釈しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パクリタキセルをシスプラチンの後に投与した場合、パクリタキセルのクリアランスが低下し、パクリタキセルの血中濃度が上昇する。これに準じ、必ずアブラキサン⇒カルボプラチンの順に投与する。 ・懸濁液の調製に当たっては、必ず生理食塩液を使用すること。 ・懸濁液は調製後速やかに使用するが、又は箱に戻し、冷蔵庫(2~8℃)に遮光保存して8時間以内に使用。 ・本剤投与時には、インラインフィルターは使用しないこと。 ・Recall現象が認められたとの報告がある。 ・血液製剤に該当するため血液製剤伝票で運用する。
	<p>参考 文献</p> <p>West H et al. Atezolizumab in combination with carboplatin plus nab-paclitaxel chemotherapy compared with chemotherapy alone as first-line treatment for metastatic non-squamous non-small-cell lung cancer (IMpower130): a multicentre, randomised, open-label, phase 3 trial. Lancet Oncol. 2019 Jul;20(7):924-937</p>

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	平日の日中は呼吸器外来(3111,3112) 夜間や休日は当直(8029,8019)
------------------	---